
スマッシュブラザーズで逃走中

スマッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマッシュブラザーズで逃走中

【Nコード】

N7875Y

【作者名】

スマッシュ

【あらすじ】

スマブラX組で逃走中するよ

スマブラ（前書き）

さぼらないぞ〜

スマブラ

はい、こんにちは

作者です。

マリオ「こらゝ勝手に出てくるなゝ。」

いいじゃないか出てきても

ルイーダ「まあいいじゃないの兄さん」

リンク「そうですよマリオさん」

マリオ「そうか？」

では、今から逃走中を始める

マリオ「いきなりだな」

ではやっていくぞ！

ルイーダ「早くやろゝよゝ」

だったら早くスマブラメンバーを集めてこいよ

マリオ・ルイーダ・リンク「はい」

お前らは子供か！

リ・マ・ル「はははは」

次、スマブラメンバーの話になるよ

さあ、ルールを説明するぜ！（前書き）

前回失敗してサブタイトルがスマブラになってしまいました。
すみません。

さあ、ルールを説明するぜ！

さて、今から説明するぞ！

マリオ「はやくしろよ」

わかったわかった。

ルール

今回、逃走する場所はこのスマッシュパークいはゆるスマブラ遊園地だ。

ここで、120分間逃げてもらって逃げ切れれば144万円だ。

しかしハンターにつかまると賞金は0だ。

とあるところに電話ボックスがあるその中の電話で自首ができる。

自首が成立するとそのときの賞金が得られる。

健闘をいのる。

マリオ「さてがんばるか！」

ルイージ「ぼくも！」

リンク「私も逃げ切りたいですね」

話が長いのでパス、

パスされた全員「おい」

マスター「今からゲーム始めるから入口に集まれ！」

作者「あつ、マスター。どこに行つてたのさ？」

マスター「この遊園地を探索してた。」

作者「（のんきなやつ）まあ、いいや。さっき言われたように集まれ」

全員「わーーーーー」

次、スマブラメンバー

さあ、ルールを説明するぜ！（後書き）

つづけられるかな？

さあ、始めるよ(前書き)

マリオ「ちゃんとできるのかよ」

作者「なにか？」

マリオ「いえなにも・・・」(こわっ！)

さあ、始めるよ

マリオ「着いた。」

リンク「疲れた〜。」

カービー「ここまでくるのたいへんだよ〜」

じゃあみんな来たな。

では、これよりゲームを始める。

ファルコ「本格的だな」

君たちの目の前にハンターが3体と鎖が39本ある

君たちはそれを引いていく

たまにいいアイテムをもらえることがある

しかし、はずれを引くとその場でハンター放出だ・・・

健闘を祈る・・・

作者「さあくじを引いて順番を決めよう」

スポ!

マリオ「わあ、1番だ。でも当たりにくいかな?」

ピカチュウ「おお39番だ。絶対に回らない!」

そして、1番はマリオだ・・・

ドンキー「マリオ!いきなりハンター引くなよ!」

マリオ「わかってるよ!よしカラーはマイカラーの赤だ!いくぞ!それ!」

ジャラララ・・・

セーフだ・・・

マリオ「やったーじゃお先」

次はルイーダ。

ワリオ「よし、逃げる準備だ!」

ルイーダ「こらー、そんなこと言うな〜」

フォックス「で、何色なんだ。まさか、コケ色じゃないよな?」

ルイーダ「いや違うよここは黒色で」

クッパ「なぜなのだ？」

ルイージ「ハンターの色だから、それ！」

マリオとルイージ以外「勝手に引くな」

セーフだ

ルイージ「やったーあれ、なんだろうこれ？」

冷凍銃2つミニ

これはハンターを30分間止めていられる。

ルイージ「じゃあね」

次は・・・

デデデ「今度はわしゾイ！」

デカイ腹のデデデだ。

デデデ「でかい腹は余計ゾイ！」

全員「さあどれを引くの？」

デデデ「金だゾイ！」

ワリオ「あー、それ俺様が引こうとしたのに！」

デデデ「そんなの速いもん勝ちゾイ！いくぞ、それ！」

ジャラララ

ガシャン

全員「わーーーーー」

デデデ「ぎゃーーーー」

ポン

デデデ確保

あと38人

時間あと119分40秒

ネス「あつデデデつかまつちゃた。」

ハンターは神出鬼没それが

逃走中

次回、みんな逃げまくろうぜ！

さあ、始めるよ（後書き）

今回、かなり長かったな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7875y/>

スマッシュブラザーズで逃走中

2011年11月23日16時03分発行